

令和6年度第2回食の安全安心セミナー 「食の安全安心の考え方」アンケート結果

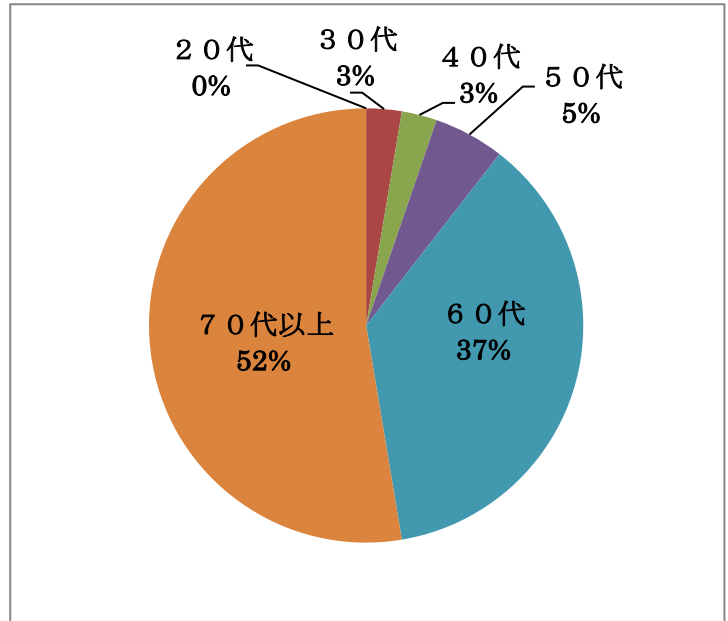
開催日時 令和6年12月2日（月） 午後1時30分から午後3時30分
 場 所 宮城県行政庁舎2階 講堂
 内 容 講 演 「食の安全安心の考え方～食品中化学物質のリスク評価について～」
 講師：公益社団法人日本食品衛生協会 学術顧問 畝山 智香子 氏

○会場参加者：46名 うちアンケート回答者38名

問1 ご自身についてご回答ください

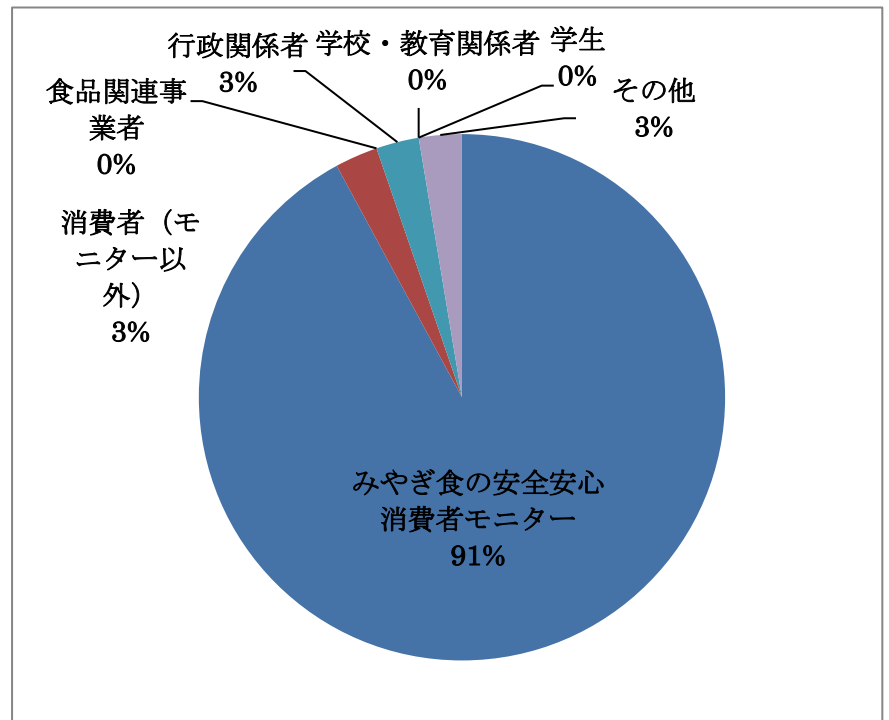
(1) 年齢

～20代	0人
30代	1人
40代	1人
50代	2人
60代	14人
70代～	20人



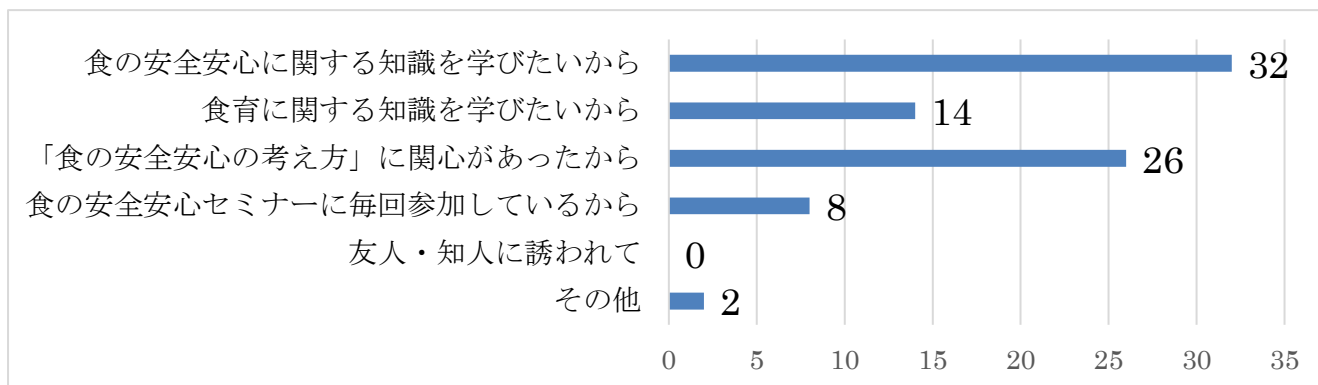
(2) 職業（所属）

みやぎ食の安全安心 消費者モニター	35人
消費者 (モニター以外)	1人
生産者	0人
食品関連事業者	0人
行政関係者	1人
学校・教育関係者	0人
医療関係者	0人
その他	1人



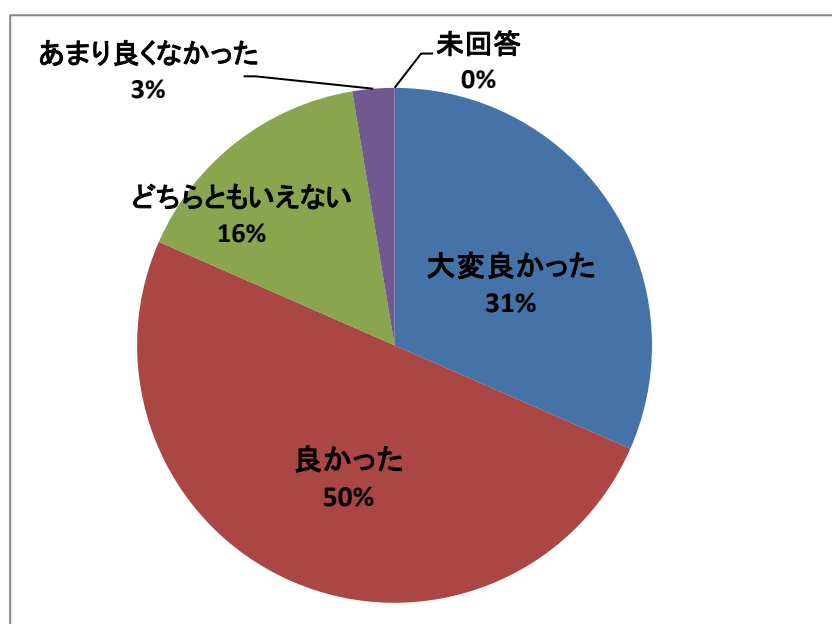
問2 内容についてお伺いします。

1. セミナーに参加いただいた理由をお聞かせください。(複数回答 可)
2. 講演 「食の安全安心の考え方～食品中化学物質のリスク評価について～」



(1) 内容はいかがでしたか。

大変良かった	12人
良かった	19人
どちらともいえない	6人
あまり良くなかった	1人
良くなかった	0人
未回答	0人

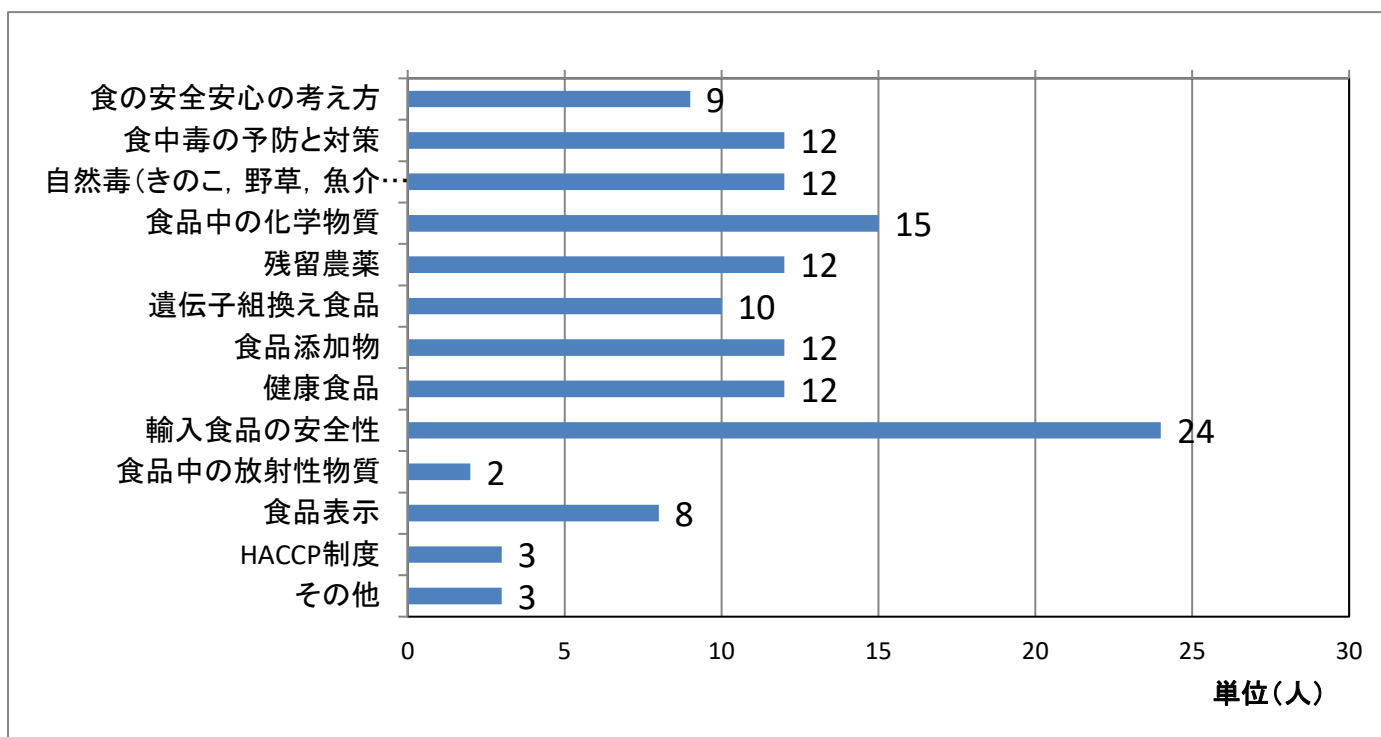


(2) 上記の回答理由・感想・意見 (一部抜粋して記載しております)

- ・おいしく・たのしく・感謝して色々な食べ物を食べましょうという説明がよかった。
- ・旅行に行ったりしておいしい食べ物を知るの大事だと思った。
- ・自分のイメージしていたことが、少し間違っていたと気づいた。
- ・興味深い話ばかりだった。
- ・かなり専門性の高い内容であったが、そういう話を聞くのも悪くないと思った。
- ・役に立つ情報をいくつもいただくことが出来た。
- ・テレビや本では得られない知識を得ることが出来た。食品に対する認識を再確認できた。
- ・サプリメントのリスク管理について聞いたのがよかった。
- ・米とヒジキは外国で注意されていることは初めて知った。
- ・健康で生きていくために、少しでも考えながら食事をしようと思った。
- ・「リスクを分散させるためにバランスの取れた食生活」を勉強しました。
- ・食品を安全にするか、安全でないものにするかは自分自身の判断にもよるのだと学んだ。
- ・私たち一般消費者から見る食品の安全に対する考え方と、研究者の方が考える食品の安全についての違いを知り、今後考えていく際の参考になりました。

問3 セミナー全般について伺います

1. 今後聞いてみたいテーマをお聞かせください。(複数回答 可)



2. その他、ご意見・ご感想（一部抜粋して記載しております）

- ・食の安全性をセミナーを通して学ぶ機会があることに感謝。
- ・セミナーで得た知識を、家族や友人にも広めていくことが大事だと感じた。
- ・普段食材を買い物する際に何に留意して購入すべきか、安全安心の面において大変勉強になった。
- ・食に関する情報があまりにも多く、日々変化していくので、こういったセミナーで正しい知識を身に着けるのが大事と思う。
- ・今回の講話ではお米に含まれるカドミウムや、ヒジキの無機ヒ素のことを知れ、目からうろこだった。
- ・カロリーゼロやノンアルコール、無糖などの表示がある食品の実態・実例の研修を開催してほしい。